

「震災に伴う人口減少に対する取り組み」が最も多く、次に「厚真町に訪れる人が増え、観光や交流ができる施設や仕組みの整備」「被災した地域の記憶や被災の記録を残すための活動」「震災を機に生まれた町外の方たちとのつながりを維持していくための活動」が多く挙げられました。

【その他の意見】  
「町民それぞれが復旧・復興に寄与していると実感できる活動」、「震災を機に、町の将来像を考え直すこと」「以前の生活を取り戻す」「日常生活ができる状態にする」など

## 5 自由記述（一部）

厚真町の復旧・復興に向けて、「こんな厚真にしたい・なったら良い」という思い

震災のまち、土砂崩れがあったまち、ではなく、これまで以上に素敵なまちだと知ってもらいたい(30代・女性)

自信と誇りの持てる厚真町にしたい(50代・男性)

震災の経験を活用し安心安全で災害に強い町づくりをしてほしい(30代・男性)

新しい物事だけでなく、既存の活動・取り組みもしっかり再評価して生かしてほしい(30代・女性)

被害が大きかった地域の方々を、町内で助け合うなどして支えていける活動ができたら、これからのまちづくりにも生かせると思う(50代・女性)

移住者と以前から住んでいる方たちが、年齢を超えて親しく地域交流ができる(70代・女性)

### 厚真町の復旧・復興についての意見・要望

「町民一人ひとりが復興について、自分は何が出来るか考える時だと思う」(80代・男性)

復興と並行して、自治会や農事組合の再編も検討するべきでは(50代・男性)

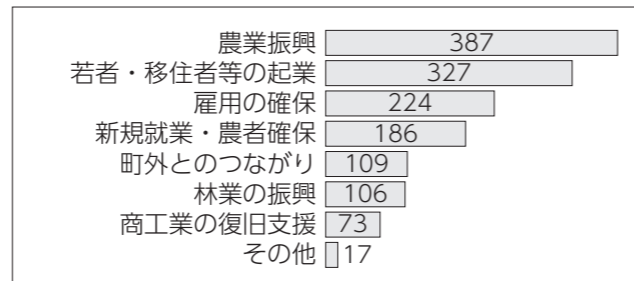
仮設住宅に入居している被災者の住居の支援をしっかりするべき。あと1年で仮設住宅を出なければいけないという不安は相当なものだと思う(50代・男性)

まずは現在住んでいる町民が「生きてて良かった」と思える生活にしてほしい。みんなが落ち着いてから慰霊のための施設や記録を残すことも大事だと思う。(60代・女性)

以前よりも車が通るとすぐ揺れると感じる。地震により建物に影響が出ているのか、地盤に影響が出ているのか分からない。(40代・男性)

## 2 しごとについて

「しごとの再生」や「まちの活力向上」のために重要だと思う点

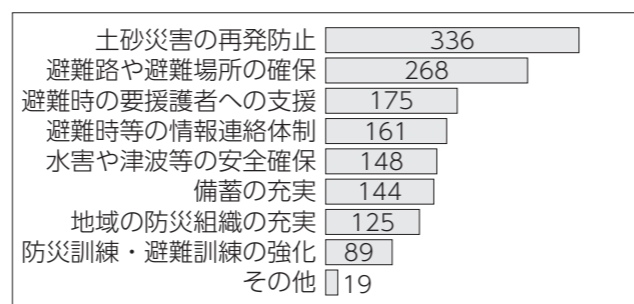


「農地の復旧・活用による農業振興」が最も多く、次に「今後も若者や移住者が町内で就業・起業するための環境整備」、「震災で仕事を継続できなくなった人などを含む多様な方の雇用の確保への支援」が多く挙げられました。

【その他の意見】「厚真ダムなどの活用」「支援員、地域おこし協力隊の取り組み」など

## 3 安全・安心なまちづくりについて

「安全・安心なまちづくり」のために重要だと思う点

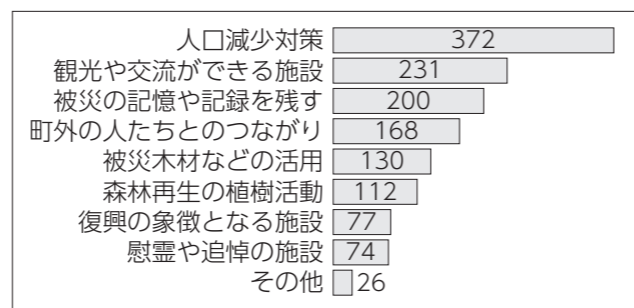


「斜面の復旧や森林の再生による土砂災害の再発防止」が最も多く、次いで「安全な避難路や避難場所の確保・再整備」「避難時の要援護者への支援体制の整備」が挙げられました。

【その他の意見】「防災教育の充実」「自分の身を守るための備えをするよう推進」など

## 4 厚真町の復興や将来像について

厚真町の復興に向けた取り組みとして重要だと思う点



## 復旧・復興に向けたアンケート調査

### 集計結果概要

町民全世帯を対象に実施した「復旧・復興に向けたアンケート調査」の9月30日時点の集計結果をお知らせします。この集計結果を参考に、厚真町復旧・復興計画の策定に向けて取り組みます。なお、アンケート結果の詳細は10月下旬に町ホームページで公開します。

問い合わせ まちづくり推進課 ☎27-3179

### ■調査実施概要

対象者：町民全世帯(2,120世帯)  
実施期間：配布7月27日、回収期限8月9日  
実施方法：郵送配布、郵送回収  
回収状況：849世帯(回収率40.0%)

### ■回答者の属性

性別 男性 77.2% 女性 22.8%

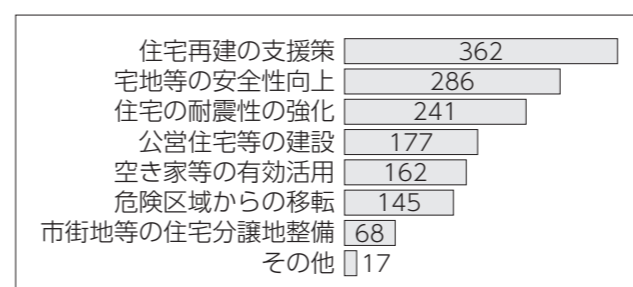
年齢 10代 0.0% 50代 15.5%  
20代 3.2% 60代 23.7%  
30代 7.0% 70代 23.8%  
40代 12.1% 80歳以上 14.9%

### ■地区別の回収率

北部地区	厚真地区	上厚真地区
幌内 23 (48.9%)	本郷 117 (36.8%)	上野 13 (35.1%)
富里 8 (26.7%)	京町 29 (34.5%)	豊川 15 (44.1%)
高丘 10 (62.5%)	表町 81 (36.0%)	共栄 10 (26.3%)
吉野 4 (30.8%)	錦町 8 (34.8%)	富野 14 (28.0%)
東和 14 (31.8%)	本町 23 (42.6%)	上厚真 103 (35.4%)
桜丘 12 (57.1%)	新町 69 (37.7%)	共和 22 (32.4%)
朝日 27 (40.3%)	美里 22 (46.8%)	厚和 6 (22.2%)
幌里 9 (25.0%)	豊沢 73 (46.5%)	鯉沼 3 (12.0%)
宇隆 17 (36.2%)		浜厚真 8 (21.6%)
		軽舞 28 (43.1%)
		豊丘 15 (40.5%)
		鹿沼 23 (38.3%)

## 1 住まいの再建について

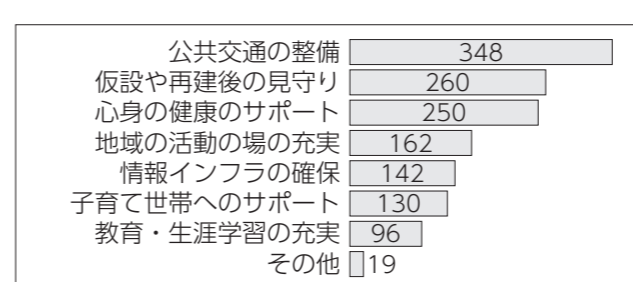
### 住宅の再生で重要だと思う点



「住宅再建の支援策」が最も多く、次いで「宅地などの安全性を高める取り組み」「住宅の耐震性の強化」についても回答が多く挙げられました。引き続き、これらの取り組みを進めます。

【その他の意見】「市街化調整区域の解除」「個々の事情を細かく聞き取る」など

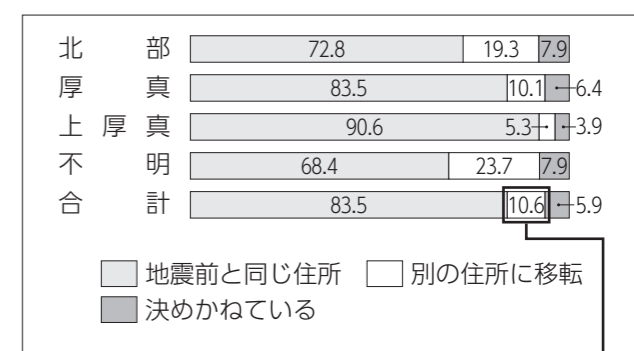
### 暮らしの再生で重要だと思う点



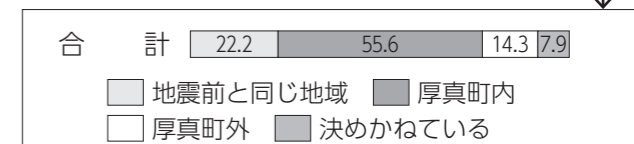
「公共交通の整備」「見守り・サポート」「心身の健康のサポート」を重要とする回答が多くあげられました。住宅再建の取り組みと併せて、引き続きこれらの取り組みを行っていくとともに、施策の充実に向けた検討します。

【その他の意見】「町民交流のイベントの充実」「地域の神社などの再建」など

### 今後の住まいの場所



### 移転する場合の住まいの場所



今後の住まいの場所については、「被災前と同じ住所」が最も多くなっています。また、「別の住所に移転する」と回答した方のうち、移転先の住まいの場所を「同じ地区内」「厚真町内」と回答した方が併せて77.8%となっており、厚真町に住み続けたいと希望する方が多いことが分かります。

今後の住まい再建の方向性を決めかねている方が全体の5.9%に上ることから、引き続き住宅再建に対する支援を継続します。

移転の理由としては、「土砂災害・地盤の安全性への不安」が最も多く、次いで「より便利なところが良い」「将来を考え病院などの近くが良い」が挙げられました。北部では「避難に不安がある」、南部では「水害・津波の不安」という回答も多く見られ、地域ごとのリスクに応じた対策も行っていきます。